

## 高校生等へのアントレプレナーシップ教育

～広がるEDGE-PRIME Initiativeの取組 そして更なる拡大へ～

## 1 はじめに

文部科学省では、アントレプレナーシップ教育（以下、「アントレ教育」）を、課題解決に向かってチャレンジしたり、他者との協働により解決策を探求したりすることができる知識・能力・態度を身に付ける教育と位置づけています。

※アントレ教育の全体像や考え方は、令和5年5月号「教育委員会月報」で紹介しています。ご覧ください。

▼教育委員会月報(令和5年5月号)

[https://www.mext.go.jp/content/20230515-mxt\\_syoto01-000029781\\_0.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20230515-mxt_syoto01-000029781_0.pdf)



アントレ教育で身に付く、他者と協働して解決策を探求する能力は、これからの時代にますます必要な能力であると考えています。実際に社会へと羽ばたく時機や、その前の学校段階から、学びの機会を得ることは重要です。文部科学省では、子供たちがチャレンジを身近に感じ、積極的に行動できるようになることを目指し、令和5年度から中核となる事業「EDGE-PRIME Initiative」(以下、「EDGE-PRIME」)を推進しています。

本稿では、EDGE-PRIMEの一年間の取組に加え、令和6年度から始まる新しい取組についても紹介していきます。

## 2 「EDGE-PRIME Initiative」の成果

EDGE-PRIMEでは、小学生から高校生・高専生を対象にアントレ教育を提供してきました。身近な社会課題について、考えてみる基礎的なものから、ビジネスアイデアを海外で発表するといったハイレベルなものなど、様々なレベルのプログラムが、対面・オンラインなどで開催され、全国各地で成果報告会が行われました。



< EDGE-PRIME 1年間の取組み >

## 【事例1】成果報告会

“KSAC アントレプレナーズデイ”  
かなえたい未来への第一歩を踏み出す日

令和6年2月10日、関西圏の大学を中心としたプラットフォーム「関西スタートアップアカデミア・コアリション（略称：KSAC）」が主催で、EDGE-PRIMEの成果報告会「“KSAC アントレプレナーズデイ”かなえたい未来への第一歩を踏み出す日」を開催し、のべ600名の方にご参加いただきました。オープニングセッションとして、(株)QuizKnock CEOであり、クイズプレイヤーとして活躍される伊沢拓司氏から、自分らしい充実したキャリアの歩み方について、学生達と交

流しつつご講演いただきました。プログラムを通じて、様々なチャレンジをしてきた高校生が、自ら考えたアイデアやプロジェクトへの熱い想いを3分間で発表する、「DOON!Pitch」を開催しました。



< DOON!Pitch 参加者集合写真 >

高校生の熱い想いに、足を止めて発表を聞く参加者も多く、熱気に包まれたイベントとなりました。当日の様子は、以下のイベントレポートにも紹介されています。是非ご覧ください。

▼イベントレポート

<https://note.com/oih/n/n7152f23040b2>



KSACの取組を“DOON!Jr”として、サイトでご紹介しています。是非ご覧ください。

▼高校生等の“なりたい”を叶える

DOON!Jr

<https://ksac.site/door-jr/>



(事例2) 成果報告会

HOKKAIDO INNOVATION HUNTER

令和6年3月9日、北海道の大学を中心としたプラットフォーム「北海道未来創造スタートアップ育成相互支援ネットワーク（略称：HSFC）」が主催で、EDGE-PRIMEの成果報告会「HOKKAIDO INNOVATION

HUNTER」を開催しました。北海道大学の学生が考案した、ピザ店の経営を通してアントレプレナーシップを学ぶカードゲーム「チャレンジピッツァ」や「総合的な学習（探究）の時間」を活用したアントレ教育を受けた小中高生を代表して、8チーム27名からの成果報告が行われました。加えて、アントレプレナーシップ教育に関わる大学生・大学院生11名が活動報告を行うと共に、高校生以上を対象としたワークショップを開催しました。小中高生や保護者、大学生・大学院生の他にもアントレプレナーシップ教育に関心を持っている方など102名の参加者が集まり、その熱意とエネルギーは雪をも解かすほどでした。



<発表の様子>



<グループワーク>

HSFCの取組を、以下のサイトでご紹介しております。是非ご覧ください。

▼【公式】HSFC アントレプレナーシップ

教育プログラム

<https://www.youtube.com/@HSFC-Entrepreneurship>



ご紹介した取組以外にも、全国各地でEDGE-PRIMEの活動は広がりを見せています。

令和5年10月号「教育委員会月報」でも紹介しています。是非ご覧ください。

▼教育委員会月報(令和5年10月号)

[https://www.mext.go.jp/content/20231004-mxt\\_syoto01-000032190\\_2.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20231004-mxt_syoto01-000032190_2.pdf)



### 3 アントレプレナーシップ大使について

高校生等のアントレ教育推進の機運を高めるべく、推進役となる「起業家教育推進大使」10名を昨年1月に文部科学大臣が任命し、全国的なイベントでの講演や高校生のピッチへの講評などを通じて、アントレ教育の普及・広報活動にご尽力いただきました。



<ピッチへの講評>

<小中高生へ講演>

EDGE - PRIME や「起業家教育推進大使」の活動を通じて、初等中等教育段階でも「総合的な学習（探究）の時間」や「特別活動」におけるキャリア教育等の一環で、アントレ教育を実施する学校が一部で増えてきました。しかしながら、日本全体ではまだまだ「アントレプレナーシップって何?」といった状況であり、アントレ教育の認知やその必要性の理解が不十分であるため、学校現場への導入が進まないという課題があります。

文部科学省は、「起業家教育推進大使」を「アントレプレナーシップ推進大使」と名称を改め、様々な分野でアントレ教育に関わる方々を任命することとしました。さらに、これまでは派遣先を全国的なイベントのみと限定していましたが、学校の授業・行事、自治体のイベント等にも対象を広げ、起業家の方々が学校現場に会う機会を大幅に拡充します。

「アントレプレナーシップ推進大使」は学校から直接申請いただき、登壇場所・日時や希望する内容に合わせて、推進大使とのマッチングおよび派遣を行います。

ご関心がありましたら、文部科学省のウェブページに詳細を掲載していますので是非、ご覧ください。本取組は夏以降に本格的に始動する予定ですので、続報をお待ちください。

▼アントレプレナーシップ推進大使について

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shinkou/sangaku/mext\\_00009.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/sangaku/mext_00009.html)



また、中小企業基盤整備機構においても高等学校等に対して支援する「起業家教育事業」を実施しています。

昨年度の支援対象10校の導入支援事例も公開されており、他にも、プログラム実施前後における生徒の意識調査など、実際にアントレ教育の導入を検討している方々の参考となる資料が公開されています。

是非、ご活用いただければと思います。

▼中小企業基盤整備機構 起業家教育事業について

<https://entrepreneur.smrj.go.jp/entrepreneur/>



▼起業家教育プログラム導入支援事例集

<https://entrepreneur.smrj.go.jp/casestudies.pdf>



### 4 おわりに

社会の変化が加速し、未来を予測する困難さが増すこれからの時代、変わりゆく社会環境の中で、自ら課題を見つけ、自ら考え、判断して行動する力を育むアントレ教育は、子供たちにとって、それぞれが思い描く幸せを実現するためにますます重要な役割を果たすものです。

今後も、教育委員会、学校現場の皆様方と対話を重ねながら、アントレ教育の振興に取り組みたいと考えていますので、ご理解・ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。